

安曇野市消防団組織に関する建議書

令和8年3月

安曇野市消防委員会

令和8年3月11日

安曇野市長 中山 栄樹 様

安曇野市消防委員会
委員長 百瀬 一孝

安曇野市消防団組織に関する建議書

消防団は、地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在ですが、全国の消防団員数の減少は顕著です。また、若年層の減少や価値観と世帯構成の変化も消防団加入率の低下に繋がっていることは明らかです。

しかしながら、近年は災害が多発化・激甚化しており、地域住民の生命・身体・財産の保護に向け、消防団の役割が一層重要となっています。

「地域防災の要」である消防団組織体制を構築するために、多くの市民が活躍できるよう間口を広げ、消防団活動に必要な予算確保と施策展開、また関係機関等への意見具申等をされますよう、次のとおり建議いたします。

機能別消防団員制度の導入について

○現状・課題

消防団は、地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在ですが、全国の消防団員数の減少は顕著です。また、若年層の減少や価値観の変化、世帯構成の変化も若年層の消防団加入率の低下に繋がっていることは明らかです。

しかしながら、近年は災害が多発化・激甚化しており、地域住民の生命・身体・財産の保護に向け、消防団の役割が一層重要となっています。

このような状況を踏まえ、地域防災力の維持と充実を図るため、人口減少・少子高齢化という社会情勢や住民意識の変化に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制の確立に向けた機能別消防団員制度の導入が全国的に広がっています。

○意見・提案

1 消防団員経験者を中心とした機能別消防団員制度の導入

安曇野市消防団規則第3条で定める消防団員定数割れの状況を踏まえ、基本団員の諸活動を補完するものとして機能別消防団員制度の導入を検討されたい。

特に、消防団経験者については平日昼間の初期消火活動・常備消防の後方支援、行方不明者捜索及び水防活動・住民避難誘導の際に長年の経験を生かした活動が期待できることから消防経験のある機能別団員の確保を積極的に検討されたい。

併せて、家庭・仕事の都合により活動が困難などの理由で消防団未加入の市民に対しても活動範囲が制限的な機能別団員の加入促進を検討されたい。

なお、機能別消防団員制度の導入にあたっては機能別団員の出勤報酬等の処遇を適切に行うため予算の確保並びに例規の整備も検討されたい。

2 音楽喇叭隊・女性消防隊の機能別消防団員制度の導入の検討

音楽喇叭隊と女性消防隊のあり方については、平成25年5月第三次中間答申にて本委員会から述べている。

それから約10年が経過し、消防団を取り巻く社会環境・構造は変化し、他自治体では、予防啓発活動、救急啓発活動といった火災現場に出動しない団員が、機能別消防団員として消防団組織を支える状況である。

安曇野市消防団の音楽喇叭隊・女性消防隊においても現状の活動状況に見合った機能別消防団員制度の導入を検討されたい。

なお、音楽喇叭隊・女性消防隊については各地域の分団の組織体制維持のためにも機能別消防団員と基本団員の兼務についても柔軟に対応することを検討されたい。

また、機能別消防団員導入に伴い、従来の団員が不利益を受けないように十分な配慮を求めたい。

■安曇野市消防委員会開催状況

回数	開催日	会議内容
第1回	令和6年4月26日（金）	○令和6年度消防団事業計画について ○今後の進め方について
第2回	令和6年7月30日（火）	○機能別消防団員の導入について
第3回	令和6年10月8日（火）	○機能別消防団員の導入について ○消防委員会の委員定数と女性委員について
第4回	令和7年2月4日（火）	○機能別消防団員の導入について ○消防委員会の委員定数と女性委員について ○建議書（案）の内容確認について
第5回	令和7年7月29日（火）	○令和6年度協議の振り返りについて ○建議書（案）の内容確認について
第6回	令和7年11月11日（火）	○建議書（案）の内容最終確認について ○令和8・9年度の協議内容について

■安曇野市消防委員名簿（順不同、敬称略）

委員長	百瀬 一孝（堀金地域）	委員	宮島 宏充（穂高地域）
職務代理	井口 猛（豊科地域）	委員	小平 博章（堀金地域）
委員	二木 弘（豊科地域）	委員	大野田 利正（三郷地域）
委員	藤原 秀一（明科地域）	委員	小澤 守（三郷地域）
委員	草深 俊行（明科地域）	委員	両角 圭介（豊科消防署長）
委員	栗原 裕（穂高地域）	委員	高橋 稔（安曇野市消防団長）